

hp OpenView
internet usage
manager 4.0



次世代ネットワークのための
集約的なメディエーション

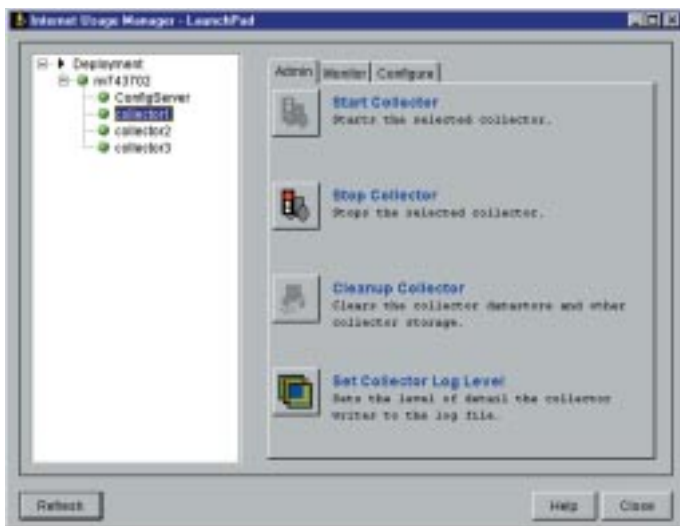


有線およびモバイルサービスの音声やデータが集中するのを受けて、ISPやテレコム企業は、ネットワークに新しい柔軟なインフラを配備し、機能的なビジネスサポートシステムを実現しなければなりません。しかし、製品化の期間の短縮に対するプレッシャーは大きく、投資利益の問題や現在の業務に対するリスクを考慮すると、このようなアップグレードを実施する際は、総資本利益を最大限に高める方法を用いなければなりません。また同時に、新しいサービスによってもたらされる膨大なワークロードから、現在のシステムやプロセスを保護することも求められます。

業界最高のメディエーション/ ユーセージ・マネジメント・プラットフォーム

こうしたニーズにより、HPのInternet Usage Manager(IUM)が使われはじめています。IUMは、集約的なメディエーション/ユーセージ・マネジメント・ソリューションを配備するための柔軟でスケーラブルなプラットフォームを提供します。このようなソリューションは、新世代のサービスプロバイダ・インフラを運用し、サービスによる利益を最大限に高めるために不可欠なものです。IUMの柔軟性により、既存のインフラやプロセスを簡単に補強し、投資利益を高めつつ、リスクを最小限に抑えることができます。IUMのメディエーションソリューションは、有線と無線の両方のネットワークに配備できるため、音声とデータのサービスをサポートするのみならず、プリペイドとポストペイドの課金モデルをもサポートします。IUMは、ネットワークおよびサービスインフラ全体から使用量データを収集/集計して関連付けを行い、オープンでユーザ設定可能なフォーマットでデータを提示します。IUMによって、使用量ベースの課金システムを実現して、容量を管理し、加入者の動向を分析できるので、戦略的なマーケティングプログラムや、収益性の高い付加価値サービスを開発することが可能です。これは実際に、サービス提供インフラとビジネスサポートシステムをつなぐ重要なリンクとなります。

初期導入のコストが低く、スケーラビリティにほとんど制約がないので、IUMは、複数のネットワークや場所に展開したり、数百万の加入者に対応したりすることが容易に行えます。このようなスケーラビリティは、Distributed Datastore(DDS)によって実現されています。DDSは、ユーザ設定のルールやコレクタの階層によってソースまたはその周辺でのデータコレクションを提供する、完全な分散アーキテクチャ(特許出願中)の一部です。また、IUMは、CORBAテクノロジーを活用して、リモートコンポーネント間の確実な通信を保証します。また、IUMの高度なモジュール設計によって、広範なサービスにわたって構成を柔軟に制御したり管理することができます。



IUM Launchpad は、設定、管理、および監視機能を1つに統合したツールで、IUMの操作を容易にする

internet usage managerの新機能

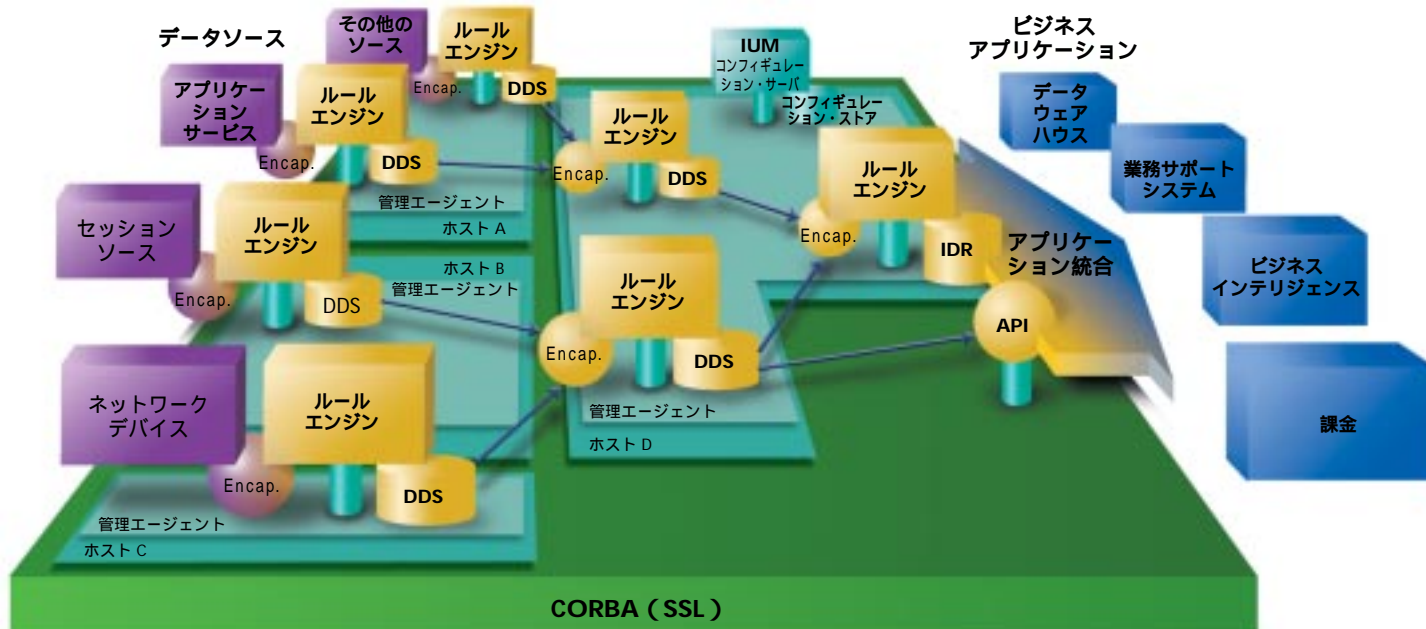
- 先進のアーキテクチャにより、1つのプラットフォームで集約的なメディエーションの要件をサポート
- プリペイドとポストペイドの課金モデルをサポート
- IUM Packet Collectorが安全なデータコレクションを提供し、コンテンツメディエーション機能を拡張
- HP OpenView Performance Insight、Service Information Portal、Storage Area Managerとの統合
- マルチデバイスコレクタの拡張により、コストを削減し、管理を簡素化
- 新しいレポート設定ウィザードで、迅速なセットアップや使用量データへのアクセスを実現

hp internet usage managerの利点

- 集約的なサービスに対する使用量ベースの課金を簡素化
- セグメンテーションやビジネスインテリジェンスのためにユーザの使用量を詳細に把握
- 分散コンポーネントアーキテクチャで新しいテクノロジーを提供し、さらに既存の環境にも容易に適合するので、最大の資本利益が実現
- 拡張可能なプラグインコンポーネントにより、新しい機器やサービスの導入に合わせてIUMを配備できることを保証
- HP Integrated Service Management(ISM)プラットフォームで、IUM、ビジネスインテリジェンス、レベニューアシュアランス、サービスアシュアランス、サービスデリバリの各プロセスを統合して、最高のビジネスアジリティ(俊敏性)を実現
- IUMは、世界中で1日24時間、HP独自のサポートサービスによって支援されており、利益に直結するデータを収集することを保証

IUMインストール事例

| アプリケーションの種類 | 業務目的 |
|-----------------------------|----------------------------|
| インターネットデータセンタ/ Webホスティング | 帯域幅の有料提供、容量のプランニング、サービスの品質 |
| GPRS/第3世代モバイルデータ | コンテンツへの課金、顧客の分析 |
| ブロードバンドアクセス | 使用量ベースの課金、キャッシュ機能の戦略 |
| バックボーンの中継 | 事業者間清算、ピアリング、帯域幅の使用 |
| インターネット電話、VPN | 使用量ベースの課金 |
| アプリケーション・ホスト | 使用量ベースのITサービス |
| エンタープライズIT | サーバ統合、デスクトップ単位の課金、通信経路の最適化 |



IUMの主な機能

- 1つのプラットフォームで集約的なメディエーションの要件に対応**
 IUMは、機能を大幅に拡張して、音声とデータのサービスを提供する有線および無線ネットワークを集約しています。これらの拡張機能は、特許取得済みのアーキテクチャの一部であり、IUMは、分散された非同期で不測のイベントを容易に数多く収集して、関連付けを行うことができます。
- プリペイドとポストペイド課金モデル**
 IUMは、リアルタイムのイベント処理や、プリペイドデータサービスに必要なAAA、SCPなどのクリティカルなプロセスとのやり取りをサポートします。もちろん、従来のポストペイド課金メディエーションにも対応します。
- コーディング不要で、業務のニーズに完全に対応**
 IUMの豊富なツールセットにより、業務のニーズに合った複数の同時集計/相関プログラムを指定できます。さらに、プログラムをカスタマイズして、1つのコレクタ階層から複数のユーザーアプリケーションを同時に提供することも可能です。ストレージや出力のオプションは非常に柔軟で、分散データのあらゆるクエリを簡単に指定できます。
- 強力なコレクションオプション**
 IUMは、有線および無線ネットワークのさまざまなデータソースや、音声とデータのサービスをサポートするサーバ、ストレージなどのインフラコンポーネントからデータを収集します。新しいIUM Packet Collectorは、回線の速度でネットワークから使用量データを直接抽出し、安全なデータコレクションを保証して、サービス提供のインフラを確保します。IUMは、1つのコレクタで複数のデータソースを計測する機能も拡張して、費用対効果を高め、管理を簡素化します。
- 強力なルールエンジン**
 IUMでは、業務のニーズに合わせて、集計、相関、フィルタリング、オプションのルールを定義します。これらのルールを組み合わせると、複数のデータメディエーションタスクを同時にサポートし、1つのコレクタ階層から、さまざまなビジネスサポートシステムについて目的にぴったり合った結果を得ることができます。
- 柔軟な出力**
 IUM Internet Data Record (IDR) ジェネレータは、HTML、XML (IPDR NDM-U 2.5など)、ASCII区切りレコード、ASCII固定フィールドレコード、バイナリレコード、SQL DBスキーマなど、完全に設定可能な出力フォーマットを提供します。データストレージのオプションも非常に柔軟で、IUMコレクタ階層に格納された分散データについて、あらゆるクエリを簡単に指定できます。
- キャリアレベルの信頼性**
 IUMの分散アーキテクチャは、固有のデータ持続性を特徴としており、データの損失を防止します。IUMは、主要なテレコム企業の協力を得て厳しいテストに合格し、ネットワークやシステムのさまざまな障害に対応しています。
- ロールベースの安全な認証**
 IUMは、CORBAベースのSecure Sockets Layer (SSL) を採用して、安全なトランザクションや確実な通信を提供します。証明書に基づく認証、アクセス制御リスト、公開鍵/秘密鍵を使用して、ロールベースの安全な識別、認証、管理を実現しています。

- 簡単な設定、管理、監視**
 統合されたGUIの「Launchpad」により、IUMの設定、コレクタログや診断の表示、アクセス特権の管理、性能統計の表示などを簡単に行うことができます。コレクタリンク機能により、グループ内の他のコレクタに設定の変更を自動的に適用することができます。また、新しいレポート設定ウィザードでは、簡単な自動レポートセットアップによって必要な使用量データを迅速に表示できます。
- リモートプロセスの一元管理**
 管理エージェントがIUMの分散コレクションインフラのリモート管理を可能にします。分散されたエージェントにより、Launchpadから直接ネットワーク全体でコレクタの起動、停止、監視を行うことができます。つまり、1人の管理者がIUMインフラ全体を簡単に移動させることができます。
- 統合されたサービス管理**
 IUMは、HP OpenView Operations、Network Node Manager、Performance Insight、Service Information Portal、Storage Area ManagerなどのHP OpenViewファミリ製品と統合して、複雑なインフラの管理機能を最大限に高めます。
- プラットフォームの移植性と確実な通信**
 IUMは、Java™で書かれ、業界標準のCORBAテクノロジーをベースにしているため、確実な通信を提供し、hp-ux、Solaris、Linux、Windows® 2000、Windows NT®、Windows NT Terminal Server Edition (TSE) をサポートしています。

ソリューション・パートナー

IUMは、業界最先端のIPメディエーション・プラットフォームとして、数多くのソリューション・パートナーとの相互運用を実現しており、さらにパートナーは増えています。これら主要なベンダとの統合の詳細については、HPのWebサイトを参照してください。

| | | |
|----------------|------------------|---------------------|
| 724 Solutions | Foundry | Openwave |
| Amdocs | HighDeal | Oracle® |
| AMS | Inktomi | Packeteer |
| Anite Telecoms | Lucent | P-Cube |
| Calculus | Microsoft® | Portal Software |
| CheckPoint | Motorola | Unisphere Solutions |
| Cisco | Netscape | Real Networks |
| CMG | Nokia | Sepro |
| Concord | Nortel Networks™ | Siemens |
| Digiquant | IPDR | StarVox™ |
| Ericsson | OpenPort | |

サポートされるデータソース

IUMは、有線および無線ネットワークのさまざまなデータソースや、音声とデータのサービスを提供するシステム、サーバなどのインフラコンポーネントからデータを収集します。

IUMコレクタは、あらかじめ設定され、すぐに使用可能なデータソースモジュールの選択、IUMの汎用データソースモジュールの設定、IUM Developer Programによる付属のデータソースプラグインの使用、IUM Developer Kitによるプラグインの開発などにより実現されます。IUMは、コンポーネントベースのアーキテクチャを採用しているため、新しい使用量データソースを簡単に統合できます。

実際に、あらゆるデータソースをサポートできます。システムを短時間で立ち上げることができ、ニーズの変化にインフラを対応させる柔軟性が実現されます。

あらかじめ設定され、すぐに使用可能なコレクタのリストについては、下記を参照してください。

<http://www.hp.com/usage>

以下の汎用データソースモジュールは、設定が容易で、さまざまなデバイスからデータを収集できます。使用例を見ると、重要なデータソースを広範にサポートしていることがわかります。

再設定可能な汎用データソースモジュール

| 種類 | 使用例 |
|------------------|--|
| ASCII区切りファイル | Webログ、RADIUSログ、FTP、IPDR |
| ASCII固定幅ファイル | 724 Solutions WAPログ |
| ASN.1* | Ericsson GGSN、Motorola SGSN |
| バイナリ・データ | Cisco NetFlow(ネイティブ) |
| Cisco IPアカウント | Cisco IPアカウントを使用するCiscoルータ |
| ディレクトリ | LDAP検索 |
| JDBCデータベースクエリ | Oracle、SOLIDデータベース |
| プロトコルベース | Nortel GTP Prime* |
| RMON MIB | NetScoutプローブ |
| SNMP | Foundry Networks、Ciscoデバイス |
| SNMP Polling MUX | Foundry Networks、Ciscoデバイス、サーバおよびストレージデバイス |
| UDP | Cisco Netflow、Juniper cflowd |
| XML | XMLファイル |

* IUM GPRS Solutionのコンポーネント

オーダー情報

hp OpenView internet usage manager 4.0

- ・ ホストマシンLTU
- ・ 汎用コレクタLTU
- ・ SNMPマルチデバイスコレクタLTU
- ・ IUM Packet Collector

システム構成

HP OpenView Internet Usage Manager 4.0は、hp-ux、Windows 2000、Windows NT/NT Terminal Server Edition、Linux、およびSun Solarisでサポートされています。これらのプラットフォームで使用するマシンのサイズや台数は、サービスプロバイダの業務目的、ネットワークポロジ、トラフィックボリュームなどの要素によって異なります。

その他のhp OpenViewユーザー・マネジメント・ソリューション

有線ネットワークやモバイルネットワークの集約的なメディエーションソリューションを探しているなら、IUMと緊密に連携する以下のHP OpenView製品をお勧めします。

- ・ HP OpenView IUM GPRS SolutionおよびIUM CDMA Solutionは、第2.5世代や第3世代のモバイルデータサービス環境でIUMやHP Dynamic Netvalue Analyzerを補完します。IUM Prepaid Data Solutionは、プリペイドデータ課金モデルのサポートを実現します。
- ・ HP OpenView Dynamic Netvalue Analyzerは、ビジネスモデルのパラメータやリアルタイムの使用量データに基づいて、利益率など、業務についての計測値を分析します。
- ・ HP OpenView IUM Software Developer Kit(SDK)を使用すると、IUMコンポーネントを拡張したり、作成したりできます。

hpの付加価値サービス

HPは、予想されるコスト・プランや業務効率の向上を実現するために、コンサルティング、アウトソーシング、サポート、トレーニング、ファイナンスなどを含む包括的なサービスを提供します。

次のステップへ

IUMなどのHP OpenViewユーザー・マネジメント・ソリューションの詳細については、<http://www.jpn.hp.com/openview/products/ium/>を参照してください。



HP OPENVIEW

Javaは米国におけるSun Microsystems, Inc.の商標です。
Microsoft、Windows、およびWindows NTは米国におけるMicrosoft Corporationの登録商標です。
Netscapeは米国におけるNetscape Communications Corporationの商標です。
Nortel NetworksはNortel Networks Corporationの商標です。
Oracleは米国におけるOracle Corporation(カリフォルニア州レッドウッド・シティ)の登録商標です。
StarVoxはStarVox, Inc.の商標です。

本書に含まれる技術情報は、予告なく変更されることがあります。
Copyright©2001 Hewlett-Packard Company

日本ヒューレット・パッカー株式会社
本社 〒168-8585 東京都杉並区高井戸東3-29-21
<http://www.hp.com/jp>

資料請求とお問い合わせはカスタマ・インフォメーションセンタへ
0120-352239(お問い合わせ窓口)
0120-081565(カタログ請求専用)
0120-081445(24時間受付FAX)
フリーダイヤル受付 9:00~17:00(土・日・祝日を除く)
hp OpenView製品に関する最新情報は
<http://www.jpn.hp.com/openview>

A4-0035 010201301-KA